

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	防災備蓄等整備事業			事業番号	002-003
担当部署名	危機管理室	局	危機管理室	部	防災

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
		有	取組の方向性	⑤地域防災力の向上					
	寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—	目標値	—			
1	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(Ⅱ)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b		
		有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進					
	寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—	目標値	—			
2	関連計画	堺市国土強靱化地域計画、堺市地域防災計画							
3	事業開始年度	平成 15 年度			点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	国土強靱化基本法、災害対策基本法							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民	対象数	823,731				単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域の防災拠点となる区役所、指定避難所等に備蓄食料・資機材等を配備するほか、指定避難所等の環境整備に取り組み、災害時における避難生活の安定化を図る。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・食料、資器材等の備蓄物資の購入・更新 ・備蓄毛布のクリーニング、抗ウイルス処理及び再真空包装 ・指定避難所コンテナ型備蓄倉庫等の整備維持 など 							
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など								
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)								
10	公民連携・協働事業								

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
11 備蓄物資（食料）の備蓄数量	食	目標値	417,000	417,000	417,000	500,400
		実績値	417,000	417,000		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		被災者の生命維持のために食料提供が必要であるため				
目標値の設定根拠・算出方法		避難所避難者数139,000人×3食×1.2（避難所避難者以外）				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
12 備蓄物資（食料）購入数	食	目標値	88,240	45,110	118,700	
		実績値	88,240	45,110		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		備蓄物資（食料）の更新・拡充を行うには備蓄物資（食料）を購入する必要があるため				
目標値の設定根拠・算出方法		目標値：備蓄物資（食料）更新必要数、実績値：備蓄物資（食料）購入数				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	防災備蓄等整備事業	事業番号	002-003
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	16,063	242,241	26,209	74,590	196,391
13 財源内訳	国支出金	217,706	775	776	143,400
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	16,063	24,535	25,434	73,814	52,991
14 人件費 (b)	5,490	9,640	9,640	14,500	14,500
15 年間経費(c)=(a)+(b)	21,553	251,881	35,849	89,090	210,891

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R3	決算	15,225	15,225			R3	決算	96	96	
16 事業費内訳	消耗品費 (枠外)	R4	予算	76,386	44,098	学校備蓄倉庫整備工事費	R4	予算	600	600	
		R3	決算	0	0		津波避難ビル看板等設置設計業務	R3	決算	596	596
	備蓄毛布クリーニング・抗ウイルス処理・再真空包装業務	R4	予算	74,402	0	備蓄倉庫廃棄物撤去業務		R4	予算	370	370
		R3	決算	54,588	53,812		燃料費 (枠)	R3	決算	411	411
	災害用備品購入費 (枠外)	R4	予算	36,710	0	その他		R4	予算	300	300
		R3	決算	0	0		通信運搬費 (枠)	R3	決算	736	736
	指定避難所表示貼替・設置業務【新規・拡充】	R4	予算	3,644	3,644	R4		予算	203	203	
		通信運搬費 (枠)	R3	決算	891	891	R3	決算	2,047	2,047	
R4	予算		1,000	1,000	R4	予算	2,776	2,776			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 備蓄食料の拡充・更新	食	88,240	45,110
② 上記①にかかる年間経費	千円	18,024	11,922
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	204	264
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	備蓄食料については、他市や市場の状況を調査しながら、安全・安心で必要最低限の栄養価やエネルギー摂取が可能なものを入札により調達している。また、発災時には、大阪府からの供給や国等からの支援のほか、防災協定を活用した調達等を想定しており、市における備蓄食料数は想定避難者数の1日分（3食）としている。さらに、消費期限の到来するものは、地域の防災訓練や防災教育等への効果的な活用に取り組んでいる。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	更新を含め、指定避難所等への備蓄を計画的に実施することにより、災害時の避難生活の環境整備を行うことができる。
----	--